

# いきいきホスピタルにゅーす

2019.1

## 働く人たちの夢



A棟（外来棟）では『つくばドリームポートレートシリーズ・つくば働く人』過去作品展を展示中です。筑波大学の学生が授業内で、つくばの働く人をテーマに写真を撮ったもので、昨年度からその被写体は、筑波大学附属病院の職員へと展開をしています。今回は、つくばで働く人々の笑顔と真剣な表情の作品から、病院職員のユーモラスな夢の作品まで様々な写真作品を展示しています。なお、今年度も引き続き病院職員を被写体とした作品制作が進行中です。こちらもお楽しみに。



### 「Tsukuba Dream Portrait Series・つくば働く人」過去作品展

会期：11月30日（金）～2019年2月

場所：A棟（外来棟）1、2階廊下

## ゴブリンって？



みなさん、ゴブリン博士を知っていますか？ “いたずら好きの妖精” という意味を持つ「ゴブリン」を媒介にして、さまざまな場所で、人々とかかわり合いながら活動をしているアーティストで、ここ大学病院でも活動しています。中でも小児病棟では継続してワークショップを開催し、こどもたちと一緒にいろいろなテーマでゴブリンをつくっています。また、外来棟3階・食堂横の壁面には、マスキングテープで描いた病院ゴブリンが展示されているので、ぜひご覧ください！

## pick up!!

大学病院前のバス停を降りると、病院ガーデンがあります。そこには、ピンクのぶたさんが2匹！？筑波大学芸術系の小野裕子助教（小野養豚ん）の作品「暖」です。これからどんどん寒くなりますが、ぶたさんがパッと明るくみなさんを出迎えてくれます。

